

「戸田市障がい者総合計画（平成30年度～令和5年度）中間見直し（案）」についてのご意見に対する回答

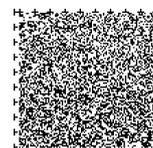
貴重なご意見ありがとうございました

案 件 名 戸田市障がい者総合計画（平成30年度～令和5年度）
中間見直し（案）について
意見募集期間 令和2年12月14日（月）から令和3年1月13日（水）まで

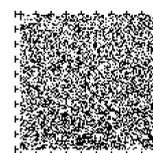
パブリック・コメントとしてご意見を募集した結果、3名の方から33件のご意見をいただきました。いただいたご意見の内容と、それに対する市の考え方を次のとおり公表いたします。

【ご意見の概要とご意見に対する市の考え方】

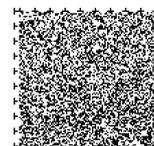
	ご意見の内容	市からの回答（対応）
1	「計画全体」について	
1	P2 障害者文化芸術活動推進法の制定について 計画への反映はどのようにされているのか。今後の動向を含め教えてください。	P51 文化・芸術活動の支援に反映しております。 具体的には、障がい児者の創作物を展示・発表する機会の創出を推進してまいります。
2	P11 アンケート調査について アンケートの結果に基づいて量的把握をするために母集団の数と標準偏差を明示してほしい。	このアンケート調査では、4800人程度のアンケート対象者の内、半数以上に対して配布しており、十分な信頼度が得られる標本数を確保しております。



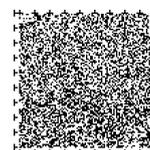
3	<p>P10 (4) 難病患者数の状況 指定難病医療給付受給者（指定難病）以外の実態を把握すべきではないでしょうか。そのうえで本市としての施策を展開できるのではないかと考えます。</p>	<p>把握方法等について、ご意見を参考に検討してまいります。</p>
4	<p>P11 アンケート調査について アンケート調査結果から障害種別ごとに特化した課題が見えにくい。全体の結果からの表記も大事であるが、障害種別ごとの課題が見えるように検討いただきたい。</p>	<p>障がい別、年齢別の調査結果から課題を整理し、施策に結び付けています。課題が把握しやすい表記については、今後検討してまいります。</p>
5	<p>P29 相談支援・情報提供体制の充実 P33 相談支援体制の充実 P72 成果目標 5 相談支援体制の充実・強化等 P80 相談支援 P83 相談支援事業 等 脳卒中後遺症で高次脳機能障害となった介護保険サービス優先となった第2号被保険者への対応なども想定して、戸田市内の介護保険関係者や「埼玉県総合リハビリテーションセンター内に設置されている高次脳機能障害者支援センターとも連携をしながら、高次脳機能障害児者への相談支援体制の充実・強化を図ります。」といったことを記してください。</p>	<p>本計画は、高次脳機能障がいも含めた障がい者全体の方向性を示した計画であるため、個別の障がいについての施策については、記載しておりませんが、ご指摘の内容につきましては、長寿介護課等各支援機関とも連携して、計画を推進する中で対応してまいります。</p>



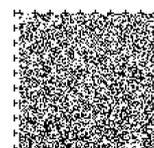
6	<p>P53 療育・保育・教育 P89 第6章障がい児支援の充実 P95 障害児相談支援</p> <p>高次脳機能障害児に対する支援について、いずれかのところで施策を記し、支援に繋がっていない高次脳機能障害児を浮かび上がらせるようにしてください。</p>	<p>本計画は、高次脳機能障がいも含めた障がい者全体の方向性を示した計画であります。このため、個別の障がいについての施策については、記載しておりません。</p>
7	<p>P27 ともに生き ともに支え合い だれもが しあわせを実感できるまち ～ 子どもから高齢者まで、すべてのライフステージを通し、” 戸田市民” が自分らしく暮らせるまち・とだ ～ ではないのか。</p>	<p>本計画は戸田市総合振興計画の部門別計画として位置付けられており、障がい児者が暮らしやすいまちを目指した施策を展開してまいります。</p>
<p>2 「障がい者施策」について</p>		
<p>【情報提供・相談支援・権利擁護】【障がい理解】について</p>		
8	<p>P33 (1) 情報提供体制の充実 点字を活用した情報活用を取り入れていただきたい。</p>	<p>情報のバリアフリーの推進に取り組んでまいります。</p>
9	<p>(2) 相談支援体制の充実 ピアカウンセリングは現状において機能していると言えるのかお考えを聞かせていただきたい。また、今後の効果的なあり方を検討していただきたい。</p>	<p>ピアカウンセリングについては、関係機関において、実施されておりますが、利用している方の固定化やピアカウンセリングの場の少なさ、周知不足・担い手の確保等の課題があります。先進市のピアカウンセリングの事例も研究し、体制の充実に向け、引き続き検討してまいります。</p>



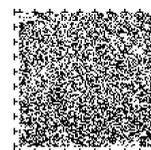
10	<p>P17 障害者差別解消法の認知状況が低い。現在の取り組みからどのような改善を考えているのでしょうか。</p>	<p>今回のアンケート調査は、障がい者や障がい者家族に対して行いましたが、これまで障害福祉課としては、小学校や支援者等に対しても障害者差別解消法の周知を図っており、周知の対象を拡げ取り組んでおります。しかし、障がい者やそのご家族への新たな周知方法については、今回のアンケート結果を踏まえ検討してまいります。</p>
11	<p>P17 権利擁護・障がい理解について 小学生向けのD E T実施、学校からの配布資料・広報資料などで分かりやすくした物を配布してみてもどうか。 権利擁護は、健常者の権利擁護と同様な関係機関での擁護維持がなされるべきと考える。</p>	<p>昨年度から小中学生等を対象とした、「心と情報のバリアフリー」の講座を実施し、就学期から障がい理解を深められるよう努めております。また、小学生も分かりやすい内容のパンフレットも講座の教材として配布しています。今後は講座対象者の拡大とともに、内容や伝え方についても検討してまいります。</p>
12	<p>P36 高次脳機能障害に対する理解促進について 高次脳機能障害について、今後行政職員や支援に従事する皆さんなどを対象に、研修などを通して人材育成していくことを記してください。</p>	<p>高次脳機能障がいに対する理解促進事業について、詳細な事業内容は計画上記載しませんが、いただいたご意見は、今後の施策を検討する際の参考とさせていただきます。</p>



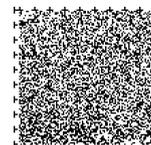
13	<p>P38 ボランティア活動の推進とあるが市の計画になぜボランティアを組み込むのか。ボランティア活動は市民の自由な意思で行うもの。無償のボランティアで計画を遂行しようとするのはいかがなものか？対価を支払った労働力を見込むべきではないのか。</p> <p>また最近のボランティア育成講座を見ると、従前に比して講座内容が薄くなっており、ボランティア育成に注力していないのではないか。ボランティアに期待せずの現れとも思われる。</p>	<p>ボランティア活動の推進は本計画当初から、障がい者施策として位置づけており、行政や関係機関、ボランティア等と連携・協力するとともに、あらゆる資源等を活用し施策を推進しております。また、育成講座の内容については、より充実を図ってまいります。</p>
<p>【生活支援】について</p>		
14	<p>P40 バリアフリー住宅の普及車いすユーザーには飲食店に入りづらい状況にある。制度の対象を飲食店にも枠を拡げてはいかがでしょうか。障がい当事者にとって使いやすいものを取り入れてほしい。</p> <p>(他1件)</p>	<p>飲食店等がバリアフリー化の工事を行う際に補助を行う「商店等新業種等転換支援事業」を経済政策課において実施しており、周知等を含め、引続き担当課との連携を図ってまいります。</p>
<p>【雇用・就労】について</p>		
15	<p>P44 就労促進の周知障がいのある子が大人になった姿を想像できるよう情報交換の場を設けるなど、保護者に対する情報アプローチを今後進めてはいかがでしょうか。</p>	<p>現在特別支援学校からの依頼を受け、高校3年生の子を持つ保護者の方に対する講座を実施しております。その他情報交換、発信の場については、各関係機関と検討してまいります。</p>
16	<p>P44 個々の得意なことを生かしていくような就労支援等も考えていくことが大切だと思う。</p>	<p>ご意見いただいた内容に留意し、就労支援の多様化を図ってまいります。</p>



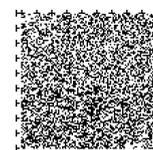
【防災・生活環境】について		
17	P47 災害について 福祉避難所等の状況、情報が障がい当事者にはわかりづらい。どのような周知、情報提供のあり方を考えているのでしょうか。	今後関係課と連携し、更にわかりやすい情報提供体制の在り方について検討してまいります。
18	避難行動要支援者避難支援体制の確立とあるが、避難行動要支援者避難支援制度に関することと考えている。制度は計画作成も含めて運用できている状況でしょうか。ここではどのような体制の確立なのか明記していただけるとわかりやすい。	昨年度においては、関係機関と連携し、医療的ケア児に対する避難支援計画を作成いたしました。この事例をモデルケースとし、避難支援計画作成を含めた体制を推進してまいります。
19	災害時不安に感じることにについて今後、アンケート調査結果を受け、他部署との連携を含めどのように考えているのでしょうか。	自助・共助に対する意識啓発を図り、防災知識の更なる普及啓発を推進してまいります。
20	P47 障害当事者というより、高齢者含め、避難所のバリアフリーの状況等、車いす対応の避難所等、わかりやすいといいですね。	いただいたご意見を踏まえながら今後の施策を進めてまいります。
21	ファックス 110 番、メール 110 番について 認知度はどのくらいでしょうか。今後、普及・活用促進にどのような進め方を考えていますか。	ファックス 110 番、メール 110 番は埼玉県警の実施事業ですので、認知度等につきましては、市が把握できない状況にありますが、障害者福祉のしおりなどを活用し、周知に努めてまいります。



22	P47 公共・公益施設等の整備について 設計前の段階から障がい当事者に確認、意見聴取を今後お願いしたい。(他1件)	庁内において施設の整備や計画の策定にあたり、障がい者の意見を伺う場として、「戸田市障害者施策推進協議会」を活用しております。
23	P48 バス車両の低床化の促進について 現状はどのくらいの割合で進んでいるのでしょうか。今後の見込みを含めて教えていただきたい。	市内の路線バスにつきましては、およそ50%が低床化されたものとなっております。今後についても、引き続き低床化されたバスの導入を働きかけてまいります。
24	わかりやすい標識について 現在、障がい者がより安全に道路通行ができるようにわかりやすい標識とのことですが、現在どのような標識等を設置しているのでしょうか。	設置場所について、わかりやすくするという趣旨もあります。各々の設置場所や標識は担当部署によって管理されております。
【情報コミュニケーション・地域活動・生涯学習等】について		
25	P24 地域活動・文化芸術活動等への参加促進について 活動内容の多様化や、より参加しやすい環境が、何であるのかを明確にするアンケートではなかったのか。	今回のアンケートは参加状況・参加意向を把握するための調査です。いただいたご意見は、次回計画策定時のアンケートを検討する際の参考とさせていただきます。
26	P49 要約筆記派遣事業 手話ができない難聴者はいます。要約筆記派遣事業について戸田市独自に事業を立ち上げていただきたい。	要約筆記者の確保などの課題もありますので、引き続き、埼玉県聴覚障害者情報センターを通じて、要約筆記者を派遣し、意思疎通に必要な支援を行ってまいります。



27	コミュニケーション環境の整備 コミュニケーション環境の整備に 点字を追加してほしい。視覚障害者 からはニーズがあります。	情報のバリアフリーの充実を検討 してまいります。
28	P49 手話等に特化せず、ボランティ ア無くしてはできないものがある 現状を打開するために、介助者を育 成し仕事として責任をもってやっ てもらえるようにする。昨今のボラ ンティア活動をする人の意識が低 いように感じる。介助をされるほう も意外と怖いことがある。しっかり した人に介助をお願いしたい。 ボランティア依存を脱却すべきで はないか。	P49 はコミュニケーション支援に 関する施策となっております。 いただいたご意見は、今後の施策を 検討する際の参考とさせていただきます。
3 障害福祉サービスについて		
29	P74 自立訓練（機能訓練）について 身体障害のない高次脳機能障害者 も対象に含め、専門的なりハビリテ ーションを提供する体制を整備し ていくことを記してください。	ご指摘のとおり、自立訓練（機能訓 練）の対象者が拡大しているた め、”身体障がい者又は難病等対象 者“を”障がい者“と修正いたしま す。関連して、自立訓練（生活訓練） の部分も修正いたします。



30	<p>P41 高齢障がい者のサービス利用支援について</p> <p>若年性認知症や脳卒中の後遺症で高次脳機能障害となった第2号の方の多くは介護保険サービスの利用が優先されます。「高齢障がい者のサービス利用支援」を「高齢障がい者等のサービス利用支援」と直したうえ、介護保険サービスの利用が優先される第2号被保険者の方を介護保険サービスだけでなく、併用できる障害福祉サービスや障害年金制度にスムーズにつなげるための施策も記してください。</p>	<p>ご指摘のとおり、“高齢障がい者”を“高齢障がい者等”に修正いたします。</p> <p>なお、いただいたご意見は、今後の施策を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
31	<p>サービスの内容と見込量について</p> <p>徘徊高齢者等探索システム、あるいはそれと同等のシステム（例えば、見守り SOS ステッカー交付事業）について、高次脳機能障害の方も対象に位置づけることを検討することを記してください。</p>	<p>本計画は、高次脳機能障がいも含めた障がい者全体の方向性を示した計画であります。このため、個別の障がいについての施策については、記載しませんが、ご指摘の内容につきましては、長寿介護課とも連携して、計画を推進する中において、対応して参りたいと考えております。</p>

